

東北地方 1か月予報

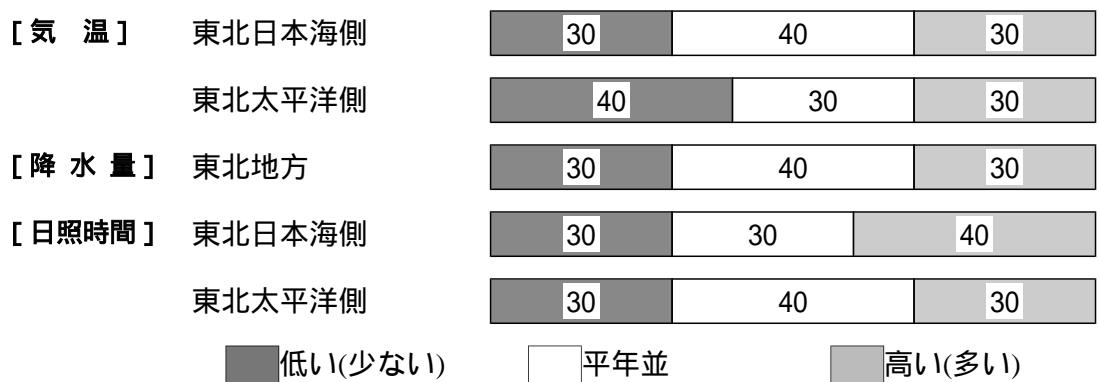
(6月2日から7月1日までの天候見通し)

平成19年6月1日
仙台管区気象台発表

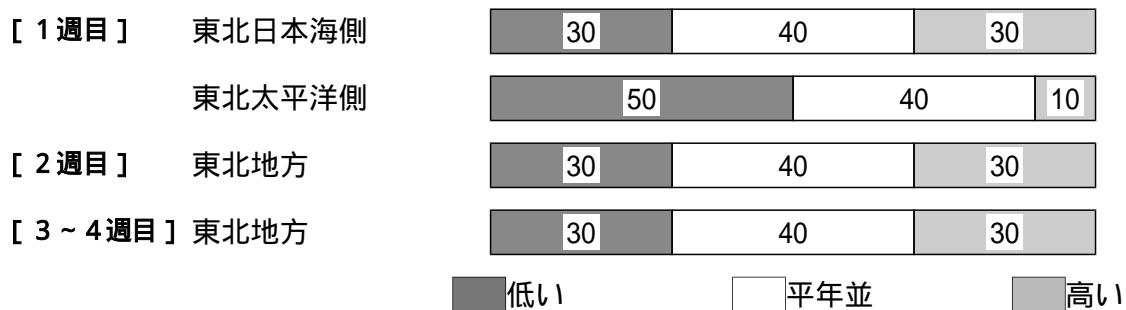
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は、数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨の日が少ないでしょう。
東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
週別の気温は、東北太平洋側では1週目は低い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月 2日(土) ~ 7月 1日(日)
1週目 : 6月 2日(土) ~ 6月 8日(金)
2週目 : 6月 9日(土) ~ 6月 15日(金)
3~4週目 : 6月 16日(土) ~ 6月 29日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月8日
3か月予報:6月25日(月) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	17.1	82.7	182.3	15.9	16.7	17.7
深浦	17.3	109.5	179.9	16.0	16.8	18.0
むつ	15.7	112.2	163.6	14.6	15.4	16.2
八戸	16.3	101.2	169.8	15.3	16.0	16.7
秋田	19.0	132.2	177.5	17.6	18.5	19.6
盛岡	18.3	116.0	150.9	17.1	18.0	18.8
大船渡	17.4	169.4	149.6	16.3	17.1	17.9
宮古	16.2	117.0	142.2	15.2	15.9	16.6
仙台	18.4	140.3	128.5	17.5	18.1	18.8
石巻	17.8	112.8	145.2	16.8	17.4	18.2
山形	19.7	103.2	153.6	18.7	19.5	20.1
新庄	18.8	136.0	152.5	17.6	18.5	19.3
酒田	19.4	133.1	175.2	18.2	19.1	20.0
福島	20.0	119.0	130.5	19.3	19.9	20.3
若松	19.9	118.7	157.0	18.8	19.7	20.4
白河	18.5	168.5	121.8	17.7	18.3	18.9
小名浜	18.4	149.6	137.4	17.4	18.0	18.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.3	83 ~ 112	94 ~ 106
東北日本海側	-0.5 ~ +0.2	76 ~ 108	95 ~ 106
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.4	83 ~ 107	90 ~ 109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.5	-0.4 ~ +0.2
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.3	-0.5 ~ +0.3
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年6月1日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（6月2日～7月1日）：

天気は数日の周期で変わり、一時前線や湿った東風の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨の日が少ないでしょう。東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目（6月2日～6月8日）：

明後日（3日）と期間の後半は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日があるでしょう。その他の日は高気圧に覆われておおむね晴れますが、東北太平洋側は湿った東よりの風の影響で朝晩中心に曇る見込みです。

平均気温は東北太平洋側で低い確率が50%、東北日本海側では各階級の確率の偏りは小さい。

2週目（6月9日～6月15日）：

天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目（6月16日～6月29日）：

天気は数日の周期で変わるものでしょう。時々前線の影響を受けて東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

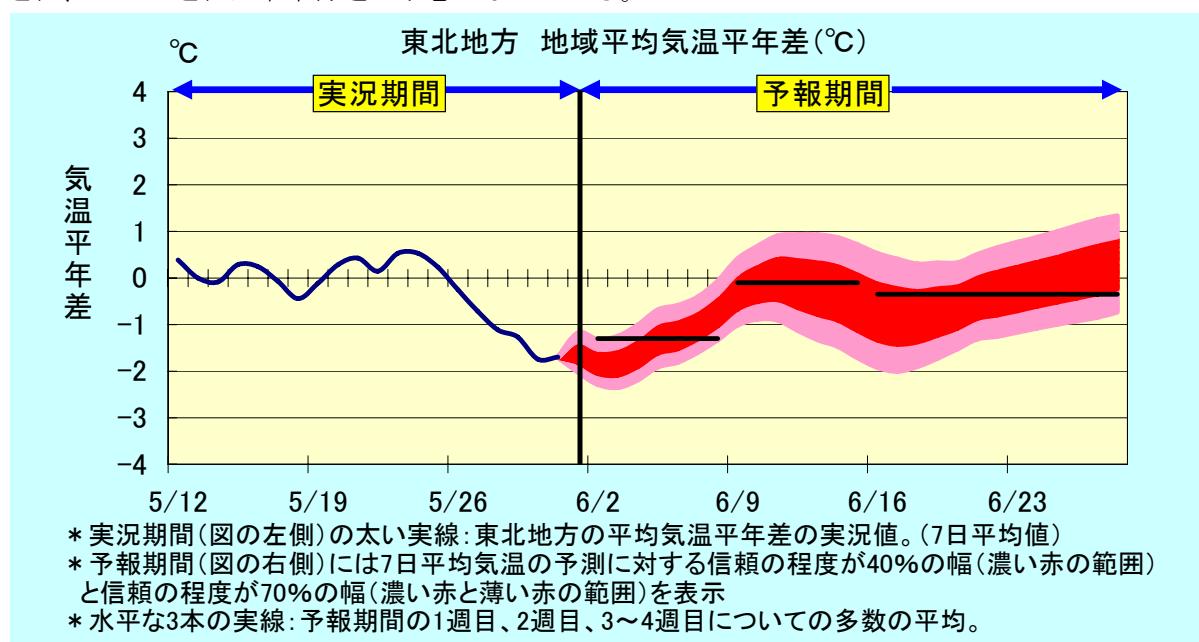
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.2日	4.0日	3.5日	5.7日
東北太平洋側	11.2日	3.6日	3.0日	4.6日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を下回る予想となっており、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。

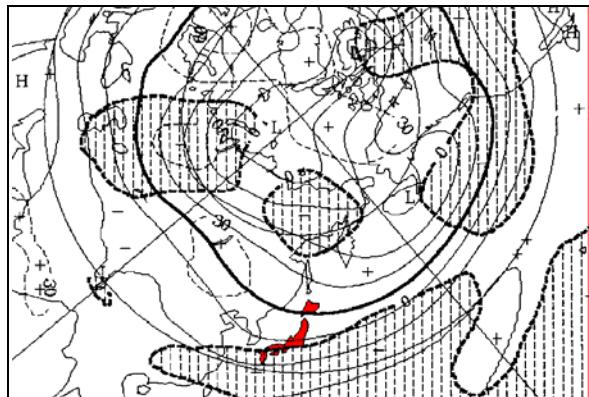


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：本州以北は広く正偏差に覆われる。一時北に偏った高気圧の影響で東北太平洋側を中心に低温傾向となる見込み。九州から日本の南海上および東海上にかけては広く負偏差で、太平洋高気圧の張り出しが平年より弱い時期がある見込み。

1週目：北日本はサハリン付近を中心を持つ正偏差に覆われる。このため地上付近では高気圧は北偏気味で東北太平洋側は湿った東風の影響を受けて気温は低くなる見込み。太平洋高気圧の張り出しが平年より弱い。

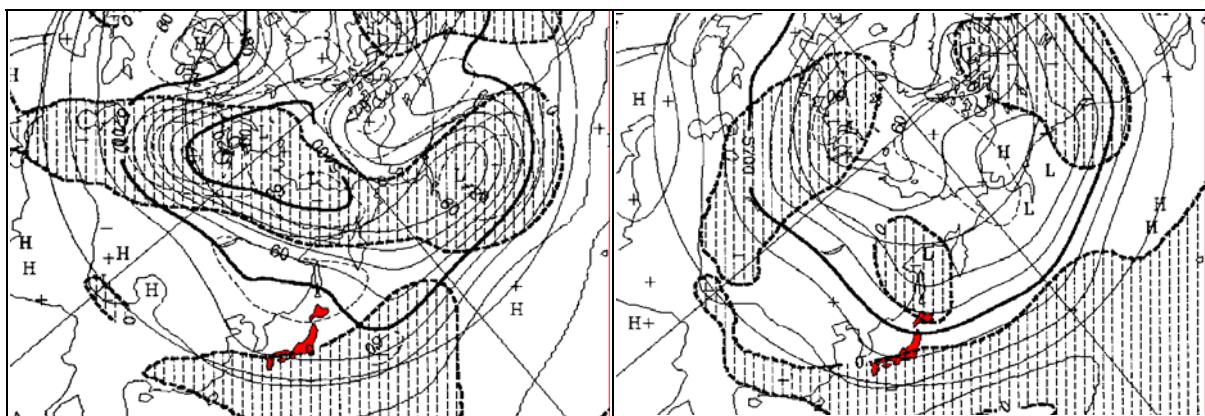
2週目：オホーツク海付近の正偏差は見られなくなり、1週目での低温傾向は解消される見込み。太平洋高気圧の張り出しが平年より弱い。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

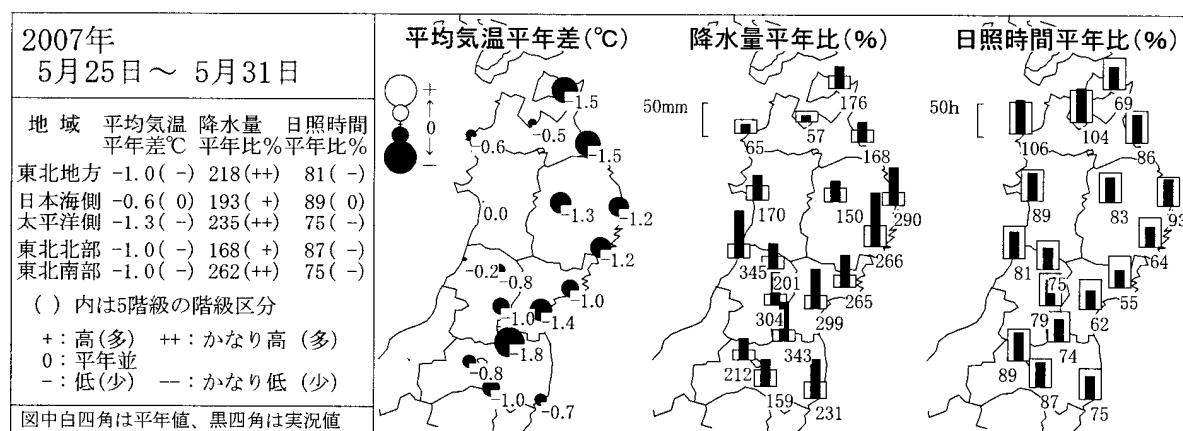
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (5月25日～5月31日) の天候の経過

東北地方は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くかった。期間の中頃には高気圧に覆われて晴れの日もあったが、湿った東風の影響で東北太平洋側では気温は低かった。25日は低気圧が東北南部を通過し全域でまとまった雨となった。31日は寒気を伴った気圧の谷が通過し、一時雷を伴う激しい雨となったところがあった。また26日から27日にかけて東北地方では広い範囲で黄砂が観測された。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)